4. 研究支援部門

（1）部門紹介

沖野　龍文
環境健康科学研究教育センター　兼務教員
（地球環境科学研究院　教授）

研究支援部門は、環境健康科学研究教育センターで行われる研究を安全かつ責任ある形で推進するために、倫理面、安全リスク管理面、および科学技術コミュニケーション面に関する支援を行う部門です。環境健康科学分野の新たな情報を国内外に広く発信するためのマスメディアやウェブサイト等による広報活動、得られた知見を人々に還元するための啓発活動となるセミナーや講演会の実施、高等学校への出前授業などを含む「国民との科学・技術対話」事業、新規の大型研究教育プロジェクトを展開するための研究開発コンサルテーションも行っています。

この2年間の活動内容の詳細を、次ページ以降に記載いたしましたのでご覧ください。

倫理面に関しては、外部委員も含む倫理審査委員会をセンター内に設置し、本センターで行われる環境省「子どもの健康に関する全国調査（エコチル調査）」や「環境と子どもの健康に関する北海道研究（北海道スタディ）」に関連する研究の倫理審査を行いました。2020年度は8件、2021年度は10件について審査し、場合により修正意見を取り入れた上で研究計画を承認しました。新規の研究の審査に加え、承認済みの研究計画に後に変更が生じた場合や、研究協力者の変更などの部分的な変更も含めて、すべて審査（迅速審査を含む）を実施しています。情報セキュリティ対策に関しては専門のタスクチームを結成し、研究で得られた情報の管理にあたっています。

公開セミナーは、COVID-19の影響で、対面からオンラインに切り替えて2020年度には6回、2021年度には8回実施し、英語論文抄読会は感染拡大防止の観点から開催を見送りました。2021年度には新しい試みとして、北海道大学公開講座および道民カレッジの連携講座として3日間に渡り6つの講座を提供いたしました。

センターに関する広報では、この2年間に、テレビ番組（沖縄テレビ）や、朝日新聞、十勝毎日新聞の記事で研究成果や活動内容が紹介されるとともに、学内では、北大時報に2020年度1件、2021年2件の記事を掲載しました。また、本センターのホームページのほか、北海道スタディとエコチル調査の各専用ウェブサイトや、研究成果データベースのウェブサイト（「環境と健康ひろば」）を設けており、これらを随時更新して最新情報の提供を積極的に行いました。さらに2021年度には、これまでに発表した58編の英語論文について一般の方向けにワンページサマリーを作成し、ウェブサイトにて公開いたしました。こうした活動により、センターの研究教育活動の状況について広く発信するとともに、成果の社会還元をはかっています。

（2）倫理審査

環境健康科学研究教育センター　倫理審査申請状況

1）2020 年（令和 2）年度

① 第 1 回倫理審査委員会（2020.9.29 開催）

課題番号	審査課題名	研究代表者	状況	判定結果通知書発行日付
121	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）：北海道ユニットセンターの詳細調査（エコチル調査全体の 5% を対象）で実施する追加調査	岸　　玲子	承認	2020/10/1
122	環境と子どもの健康に関する北海道研究（北海道スタディ：全道大規模コーホート）	岸　　玲子	承認	2020/10/1
123	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）：北海道ユニットセンターの学童（小学２年生）追加調査	岸　　玲子	承認	2020/10/1

② 第 2 回倫理委員会：迅速審査　（2020.10.9 回答締切）

課題番号	審査課題名	研究代表者	状況	判定結果通知書発行日付
124	ベトナムの e-waste 処理地域における住民を対象とした健康影響の疫学研究	荒木　敦子	承認	2020/10/14
125	マタニティヨガの周産期予後改善効果に関する研究	岸　　玲子	承認	2020/10/14
126	胎児期の内分泌かく乱物質への曝露が性分化・性腺機能および第二次性徴発来に及ぼす影響：環境遺伝交互作用の解明（エコチル追加調査）	篠原　信雄	承認	2020/10/14
127	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	岸　　玲子	承認	2020/10/14
128	環境と子どもの健康に関する北海道研究（北海道スタディ：東豊コーホート）	岸　　玲子	承認	2020/10/14

2）2021 年（令和 3）年度

① 倫理審査委員会迅速審査（2021.8.16 回答締切）

課題番号	審査課題名	研究代表者	状況	判定結果通知書発行日付
129	ミトコンドリア DNA コピー数の遺伝様式と環境影響	福永　久典	承認	2021/8/26
130	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）	岸　　玲子	承認	2021/8/26
131	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）：北海道ユニットセンターの詳細調査（エコチル調査全体の 5% を対象）で実施する追加調査	岸　　玲子	承認	2021/8/26
132	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）：北海道ユニットセンターの学童期（小学２年生）追加調査	岸　　玲子	承認	2021/8/26
133	胎児期の内分泌かく乱物質への曝露が性分化・性腺機能および第二次性徴発来に及ぼす影響：環境遺伝交互作用の解明（エコチル追加調査）	篠原　信雄	承認	2021/8/26
134	ベトナムの e-waste 処理地域における住民を対象とした健康影響の疫学研究	荒木　敦子	承認	2021/8/26
135	喫煙に起因する低体重出生のリスクを予測する血液中マイクロRNAの探索	岸　　玲子	承認	2021/8/26

② 第１回倫理審査委員会（2021.8.31）

課題番号	審査課題名	研究代表者	状況	判定結果通知書発行日付
136	環境と子どもの健康に関する北海道研究（北海道スタディ：全道大規模コーホート）	岸　　玲子	承認	2022/9/3
137	環境と子どもの健康に関する北海道研究（北海道スタディ：東豊コーホート）	岸　　玲子	承認	2022/9/3

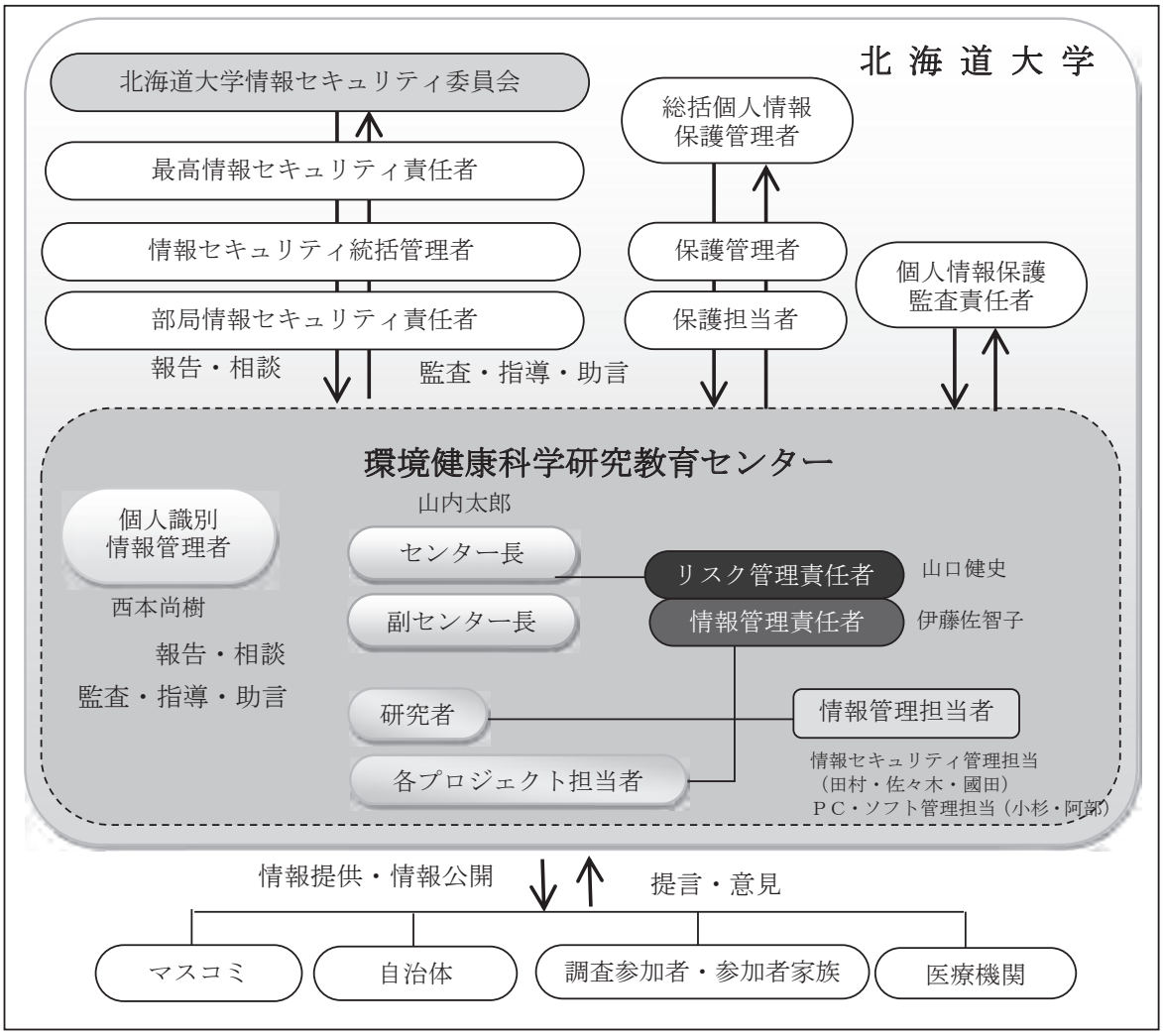
③ 第２回倫理審査委員会（2022.2.15）

課題番号	審査課題名	研究代表者	状況	判定結果通知書発行日付
136	環境と子どもの健康に関する北海道研究（北海道スタディ：全道大規模コーホート）	岸　　玲子	承認	2022/2/18

(3) 情報セキュリティ対策活動

環境健康科学研究教育センターでは、プロジェクト研究に伴い膨大な個人情報を取り扱っています。これらの漏えいを防ぐことは倫理審査における絶対必要条件とされており、情報の流出は許されるものではありません。そのため、プロジェクトごとに個人情報の取り扱いに関わるマニュアルを作成し、「情報セキュリティ専門のタスクチーム」が、業務で使用される情報機器、および、ソフトウェアの運用、個人情報管理についての統括を行っています。タスクチームは、日常的に、情報セキュリティ強化についての意見交換を行っています。加えて、定期的に会議を開催し、情報セキュリティに関する問題の洗い出しや対応についての議論を行うとともに、最新の脅威に対して迅速に対応できるようマニュアルの整備・改訂を進めています。

1）環境健康科学研究教育センターの情報管理体制



① 役割

■**トップマネジメント：**山内太郎　センター長

■**リスク管理責任者：**山口健史　特任講師

リスク管理に係わる一切の事務を行い、実行する責任を負う。

■**情報管理責任者：**伊藤佐智子　特任准教授

情報セキュリティ・情報管理の具体的な対応策実施の指揮を執る。

■**情報管理担当：**田村菜穂美（副責任者、センター全体担当）、佐々木恵（エコチル調査担当）、
國田耕司（北海道スタディ担当）、小杉綾子・阿部香苗（PC ソフト管理担当）

■**個人識別情報管理者：**西本尚樹　特任准教授（北海道大学病院　医療・ヘルスサイエンス研究開発機構）

② 情報管理担当者の管理体制実施事項

- 個人情報の所在の把握
- 個人情報へのアクセス権の設定
- 個人情報の適切な利用と管理
- 個人情報が記録された媒体の管理
- 自己点検リストによる情報取扱いルールの点検および管理
- 新規 PC 購入時等ソフトウェア整備補助等
- ファイアーウォールの管理・設定
- 北大 HINES チームに対する各種連絡・問い合わせ
- 新種ウィルス、情報漏えいケースに関する情報収集と注意喚起

2）活動報告

① 内部監査の実施と内容

2021 年 2 月 17 日

監査者：山品博子（北海道大学大学院保健科学研究院　助教）

・本センターの調査内容についての説明を行った。

・対面調査等実施の際の個人情報管理についての状況説明を行い、助言を得た。

・本センター内での無線 LAN 利用について助言を得た

・研究データおよび事務資料の保管・運用方法についてのご相談を行った

2022 年 1 月 28 日

監査者：西本尚樹（北海道大学病院　医療・ヘルスサイエンス研究開発機構　特任准教授）

・本センターの調査で得られたデータについて、管理・保存方法の説明を行い、助言を得た。

・個人情報管理について倫理的観点の助言を得た。

・今後予定している web でのアンケート調査について、説明を行った。

② 自己点検リストの実施

2020 年 8 月　自己点検リスト実施

2020 年 11 月　自己点検リスト実施

2021 年 2 月　自己点検リスト実施

2021 年 5 月　自己点検リスト実施

2021 年 9 月　自己点検リスト実施

2021 年 11 月　自己点検リスト実施

2022 年 1 月　自己点検リスト実施

③ その他　実地調査

エコチル調査実地調査（オンライン実施）　2020 年 12 月 8 日（火）

エコチル調査実地調査（オンライン実施）　2021 年 10 月 5 日（火）

（4）講演会、セミナー等開催

① 公開セミナー

環境健康科学研究教育センターでは、年に数回、所属教員などによる公開セミナーを開催しています。教員がそれぞれの専門分野を活かして、互いに知識を提供しあうセミナーです。

・開催場所　WEB 開催

● 2020（令和 2）年度

第 1 回　2020 年 7 月 20 日（月）14：10-15：10

講師：Poudel Kritika　特任助教　（北海道大学保健科学研究院）

演題：Development of cancer education program focusing on adolescent health in Nepal

（ネパールにおける adolescent health に焦点を当てたがん教育プログラムの開発）

第 2 回　2021 年 2 月 8 日（月）13：00-15：00

講師：福永久典　特任准教授（環境健康科学研究教育センター）

演題：福島第一原子力発電所事故後の被災地医療支援から東北メディカル・メガバンク機構でのバイオバンク研究へ

講師：山口健史　特任講師（環境健康科学研究教育センター）

演題：先天性甲状腺機能低下症に対する網羅的遺伝子解析

● 2021（令和 3）年度

第 1 回　2021 年 5 月 24 日（月）13：30-14：30

講師：川手菜未　博士研究員（環境健康科学研究教育センター）

演題：「成人期の発達障害者は医療機関に何を求めているのか　～インタビュー調査によるパイロット調査～（Relationship with body mass index and incidence of stroke in Japanese population : The Jichi Medical School Cohort Study）」

第 2 回　2021 年 8 月 6 日（月）18：00-20：00

講師：稲垣佑典　統計専門職（総務省統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室）

演題：Web 調査の実施と注意点に関して

第 3 回　2021 年 8 月 16 日（月）13：30-14：30

講師：Sharon Hanley　特任講師（環境健康科学研究教育センター）

演題：「子宮頸がんのない未来へ　WHO のグローバル戦略」

第 1 回　2019 年 4 月 1 日（月）14：10 ～ 15：10

② シンポジウム・セミナー

2022（令和 2）年度

● Educational and Scientific Webinar Series (1)

日　時：2020 年 12 月 22 日（火）　18：15-19：45

場　所：WEB 開催

演　題："Recommendations to authors for writing interesting research articles"

演　者：Prof. Adrian Covaci　University of Antwerp, Toxicological Center

（主催：医学研究院　医学教育・国際交流推進センター）

● Educational and Scientific Webinar Series (2)

日　時：2021 年 1 月 12 日（火）　18：15-19：45

場　所：WEB 開催

演　題："The Editorial and Reviewing Processes – a look from the "other" side"

演　者：Prof. Adrian Covaci University of Antwerp, Toxicological Center

（主催：医学研究院　医学教育・国際交流推進センター）

● Educational and Scientific Webinar Series (3)

日　時：2021 年 2 月 3 日（水）　18：15-19：45

場　所：WEB 開催

演　題："COVID-19 in Australia, and a Real-time Information System for Preparedness and Epidemic Response (CRISPER)"

演　者：Prof. Colleen Lau, University of Queensland, Australia

2021（令和 3）年度

●第 24 回北海道大学－ソウル大学校ジョイントシンポジウム分科会 2

日　時：2021 年 11 月 19 日（金）、26 日（金）

場　所：WEB 開催

プログラム：Environmental Chemicals and Human Health

（詳細はⅡ５．連携教育推進部門（4）に記載）

● Education-oriented Webinar Series (2)

日　時：2022 年 1 月 12 日（水）　18：15-19：45

場　所：WEB 開催

演　題："How should universities internally embrace and apply SDGs to their teachings and research?"

演　者：Prof. Paul Jagals : University of Queensland

（主催：医学研究院　医学教育・国際交流推進センター）

● HPV ワクチン　～積極的勧奨再開を迎えて～

日　時：2022 年 3 月 5 日（土）

場　所：WEB 開催

プログラム：Environmental Chemicals and Human Health

◆講演１：“世界における HPV ワクチンの現状と普及”

◆演　者：Dr. Paul Bloem, Senior Immunization Officer WHO Geneva

◆講演２：“オーストラリアにおける HPV ワクチンの現状と効果”

◆演　者：Prof. Julia Brotherton, Australian Centre for the Prevention of Cervical Cancer, University of Melbourne

◆講演３：“日本における HPV ワクチンの現状と課題”

◆演　者：Dr. Sharon J.B. Hanley, 北海道大学環境健康科学研究教育センター

◆ディスカッション：

◆司　会：小林絵里子、富山県立大学看護学部講師

◆指定発言：阿南理恵（子宮頸がんサバイバー）
赤羽宏基（WHO）
鈴木幸子（埼玉県立大学）

●子宮頸がん検診～日本の検診はどのように変化していけばいいのか？～

日　時：2022 年 3 月 26 日（土）

場　所：WEB 開催

◆講演１：“英国における子宮頸がん

●子宮頸がん検診～日本の検診はどのように変化していけばいいのか？～

日　時：2022 年 3 月 26 日（土）

場　所：WEB 開催

◆講演１：“英国における子宮頸がん検診における看護職の役割”
スクリーニングからコルポスコピーへ

◆演　者：Dr. Breda Anthony, Nurse Consultant, Royal Infirmary Edinburgh

◆講演２：“世界、そして日本における HPV 自己採取の動き”
HPV 自己採取による成果と日本での自己採取の導入

◆演　者：Dr. Sharon J.B. Hanley, 北海道大学環境健康科学研究教育センター 特任講師

◆講演３：“Program Rose：Malaysia での自己採取導入戦略”
子宮頸がん検診受診率の低い Malaysia での自己採取の導入戦略 Program Rose の実際

◆演　者：Professor Yin Ling Woo, University of Malaya

◆ディスカッション：

◆司　会：小林絵里子、富山県立大学看護学部講師

◆指定発言：鈴木幸子（埼玉県立大学）
早乙女智子（ルイ・パストゥール医学研究センター）

③ 公開講座

2021（令和 3）年度

●環境×健康× SDGs　～世界が直面する問題の解決を目指そう～

開催日時：2021 年 10 月 26 日（火）、11 月 5 日（金）、11 月 9 日（火）各日 18：00 ～ 19：30

開催場所：WEB 開催

開催内容：

10 月 26 日（火）　司会：宮下ちひろ（環境健康科学研究教育センター　特任教授）

○ SDGs（持続可能な開発目標）と地球環境問題：
私たちの健康・安全・well-being と Planetary health
岸　　玲子（環境健康科学研究教育センター　特別招へい教授）

○未来をつなぐ SDGs
伊藤佐智子（環境健康科学研究教育センター　特任准教授）

11 月 5 日（金）　司会：福永久典（環境健康科学研究教育センター　特任准教授）

○気候危機と民主主義のイノベーション
三上　直之（高等教育推進機構　准教授）

○子どもたちと一緒に創る地域のサニテーション
山内　太郎（保健科学研究院　教授）

11 月 9 日（火）　司会：宮下ちひろ（環境健康科学研究教育センター　特任教授）

○室内環境から見る SDGs
池田　敦子（保健科学研究院　教授）

○身近な生活環境とみんなの健康を考える
―SDGs 達成に向けたわれわれの取組みとこれから―
小林　澄貴（環境健康科学研究教育センター　特任准教授）

④ FD（Faculty Development）

2021（令和 3）年度

● SDGs に関する勉強会

開催日時：2021 年 11 月 12 日（金）10:30 ～ 12:00

開催場所：中央キャンパス総合研究棟　リフレッシュルーム

○北大発展の歴史と SDGs
横田篤（理事・副学長）

○北大の SDGs 推進と教育改革
出村誠（総長補佐）

○質疑応答、ディスカッション

（5）広報・コミュニケーション活動

1）ニュースレター発行

① 2020（令和 2）年度

● 4 月 1 日「ポプラの綿毛・第 13 号」

● 10 月 1 日「ポプラの綿毛・第 14 号」

② 2021（令和 3）年度

● 4 月 1 日「ポプラの綿毛・第 15 号」

● 10 月 1 日「ポプラの綿毛・第 16 号」

2）北海道大学「国民との科学・技術対話推進事業」への参画

① 2020（令和 2）年度

講師：小林澄貴

講義：「ヒトの身近な環境は健康に関係するのか？」

2018 年 10 月 23 日（金）14:15 ～ 15:05、15:15 ～ 16:05　北海道札幌南高等学校

3）講演会・講義への講師派遣

① 2020（令和 2）年度

●東京農業大学教育実践・基礎研究発表会

講師：山﨑圭子

講演：「農薬と子どもの発達－北海道スタディから」

開催日時：2020 年 11 月 20 日（金）

開催場所：網走市

●アスピア健康セミナー

講師：アイツバマイゆふ

講演：「環境化学物質と私たちの健康　～北海道スタディ～」

開催日時：2020 年 12 月 9 日（水）

開催場所：札幌市

② 2020（令和 2）年度

● One Health Research Center キックオフシンポジウム

講師：池田敦子（兼務教員）

講演：「環境化学物質による健康障害の予防 WHO 研究協力センターとしての役割と活動」

開催日時：2021 年 5 月 29 日（土）

開催場所：札幌市

4）Web ページの公開

●北海道大学環境健康科学研究センター：https://www.cehs.hokudai.ac.jp/

●研究成果データーベース「環境と健康ひろば」：https://www.cehs.hokudai.ac.jp/hiroba/

●環境と子どもの健康に関する研究・北海道スタディ：https://www.cehs.hokudai.ac.jp/hokkaidostudy/

●エコチル調査・北海道ユニットセンター：https://www.cehs.hokudai.ac.jp/ecochil/

5）北海道大学広報誌「北大時報」記事

① 2020（令和 2）年度

● 2020/4 月号 No.793 部局ニュース

環境健康科学研究教育センターが令和元年度後期「社会と健康」ディプロマ授与を挙行

● 2020/10 月号 No.799　全学ニュース

「国民との科学・技術対話」推進に関する研究支援事業に、15 名の研究者が参加」

（小林澄貴特任講師（当時）が参加）

● 2020/11 月号 No.800　全学ニュース

「Academic Fantasista 10 月は 6 名の研究者が北海道札幌南高等学校で出張講義を実施」

（小林澄貴特任講師（当時）が参加）

② 2021（令和 3）年度

● 2021/10 月号 No.811 部局ニュース

環境健康科学研究教育センター岸玲子特別招へい教授が国際環境疫学会の John Goldsmith 賞を受賞

● 2021/12 月号 No.813　部局ニュース

環境健康科学研究教育センター FD「SDGs に関する勉強会」を開催

● 2021/12 月号 No.813　部局ニュース

環境健康科学研究教育センターが公開講座「環境×健康× SDGs」を開催

● 2022/2 月号 No.815 全学ニュース

第 24 回ソウル大学校 - 北海道大学ジョイントシンポジウムを開催

分科会 2　SNU-HU-MU Joint Class: Environmental Chemicals and Human Health

6）新聞・雑誌等記事

① 2020（令和 2）年度

●毎日新聞　2020 年 7 月 29 日（水）

「有機フッ素化合物について」

●朝日新聞電子版　2021 年 3 月 29 日（月）

「有機フッ素化合物について」

② 2021（令和 3）年度

●むてんかびと　2021 年 7 月 25 日（日）

「住まいと室内環境を科学する―私たちの住まいの室内環境と健康」

● BuzzFeed インターネットニュース　2021 年 11 月 12 日（金）

「HPV ワクチン、積極的勧奨の再開について」

●朝日新聞夕刊　2021 年 11 月 18 日（木）

「有機フッ素化合物について」

●十勝毎日新聞　2021 年 12 月 14 日（火）

「環境疫学で国際賞受賞」

●十勝毎日新聞　2022 年 1 月 17 日（月）

「環境疫学　ジョンゴールドスミス賞　受賞」

● BuzzFeed インターネットニュース　2022 年 3 月 17 日（木）

「HPV ワクチン、9 価ワクチンの定期接種化を待たないで」

● SCIENCE Journal　2022 年 4 月 1 日（金）
「HPV ワクチンの再開について」